

令和 6 年 第 6 回南牧村地域防災情報等提供施設審議会 議事概要

日時：令和 7 年 2 月 27 日（木）13：30～14：45

参加者：南牧村地域防災情報等提供施設審議会委員 8 名、事務局 5 名（総務課職員：津金総務課長、広田課長補佐、今井係長、伊藤主事、深沢主事）

【決定事項】

次回、審議会

2025 年 3 月 19 日（水）13：30～（南牧村大会議室北）

【詳細内容】

- 1、開会
- 2、会長あいさつ
- 3、意見交換

（主な委員意見）

○民間に移行するにも段取りがあるため、早く決めたほうがいい。

○公設民営の方向は流れとしてやむを得ないと思う。

○公設民営化で方向性を作っていく、その中で課題などを詰めていけばいい。

○公設民営化を進めていかないといけない。問題点、ハードル、いいアイデアを出し合わないといけない。問題点を出し合い進めていくべき。何をどうしてくべきかを具体的に決めていかないといけない。

○委員の中でも子供の撮影などしっかりとやってもらえるのかと心配の声もあったが、視察をし、その面は何の問題もないということが分かった。

○視察に行った民間企業の手法は大まかに 2 種類あるが、手法については予算、施設など勘案し行政主導でいい形で進めてほしい。

○公設民営は必要であると思う。ただ、民営化を進めた時に今の村のマーケットで成り立つかが問題。住民の生命・財産を守るというのは一番大切。防災機能を満たしつつ、役場職員の置かれている状況を改善し、機能を満たしながら、地域の中のコミュニケーションを図るなどしていったほしい。

○一番大事なことは本来の機能を満たしきれない環境、役場の環境を一度整理して、それを解決できるような体制づくり。住民に負担を求めるなら求めるし、そういったことを含めて成り立つような形を検討することが必要だと考える。

○防災の関係について事務局から説明願う

→（事務局）防災の要となる意思決定の機能は行政が持ち続け民間に任せることはしない。想定しているのは、無線放送のアナウンスの吹き込み等を想定し本質的な危機管理体制は変わらない。

事務局：ご意見を伺うと全体の印象とすると公設民営化に集約されると考える。このご意見を踏まえ財政的な話にはいりたい。南牧村ケーブルテレビ事業収支検討基礎資料を用い、IRU 契約に移行した際の概算試算について説明。→特段の質疑なし。

4、南牧村CATV重要事項の確認について

事務局：公設民営化に移行し民間事業者を選定する場合、一般競争入札のように価格を最重視することが適当ではなく、安定的に運営が続けられること、事業運営にあたって体制や技術が伴っていないなければならない。インターネット通信面で言えば、安定的な接続環境の構築はもちろん、通信速度の高速化や障害が起こった際にすぐに対応できる体制が必要である。複数業者が考えられる場合、価格の安さだけでなく大切にすべき事項1つ1つを評価項目に入れる「プロポーザル方式」が適当と考えている。民間会社が多数いなければ1社と協議していくことになる。選定基準の設定が必要となるため、大切にしたいと考える評価基準を委員の皆様に挙げていただきたい。

→資料「南牧村CATVが大切にしたいこと」に掲載

5、今後の方向について

事務局：今回民営化するとして、プロポーザル方式を採用する際の重要な評価項目や、今後の南牧村CATVの引き続き大切にしていきたいことを挙げていただいた。3月の会議では、これを整理し、実際にプロポーザル方式を採用する際に使うような資料をお示しし、皆さんにお伺いしていきたい。今後の民営化するのに移行期間などの大まかなスケジュールをお伝えし、3月で変わられる委員さんもいることから、3月を1つの区切りにしたいと考えている。

会長：この審議会では、全体の意見として公設民営化するという印象ではあるが、違うのではないかを言った意見もお聞きした。これを有坂村長へお伝えし、今後に活かしていければよいと考えている。そのほかご意見有りましたら、早めに事務局へご連絡いただければと思う。

閉会

【次回会議日程】

日時：3月19日（水）18：00～

南牧村役場3階大会議室

南牧村 CATV が大切にしたいこと

テレビ放送	インターネット	その他
安定的な運営 価格水準が高額にならないこと		
放送局の番組を視 聴できること 子どもの顔が 映る自主番組 地域の文化的放送	村全域で通信サー ビスが受けられる こと 通信速度の高速化 高速化へのさまざ まな提案	防災情報提供体制の 現状維持 DX 化など新たな行 政サービスの連携相 手になり得ること